

生まれも育ちも違うはず 恋人たちの距離

11月から街はクリスマススムード満点。ネオンはクリスマス色、ツリーは点灯し、その脇を恋人たちが楽しげに行き交う。恋人たちを見ていてふと考えることがあります。二人の距離が、カップルごとに違うんだなって。

それは二人を保っている距離で、物理的な距離、精神的な距離の両方を表しています。他人の私が見ているだけでは分からない距離がきっと二人にはあるんですね。手をつないだり、腕を組んだり。男性が前、その半歩後ろに女性。同じ横並びの恋人たちでもカップルごとの違いがあるんです。きっと生まれも育ちもまったく違う環境に育った二人が同じ時間を共有しているんでしょう。出身

も育ちも、学校も職業も違う。歳も違えば、考え方、性格も。どうしてもその二人が成り立っているんだらうと不思議な気持ちになるのです。

やはり男と女は一致しない だから面白い

男女の関係などは特にそうで、同一として完全一致するはずがありません。先月号でも、お話しした『ナイショ』のテクニク。男は女に夢を見ていたいし、女は男に夢を見せるべし。相手のことを全部知る必要性はないのです。というよりは不可能なのです。それを意見がぶつかるだの、行動様式が違うだの言っても仕方ないのです。何で合わないのだろうと合わない点ばかりを考えてしまつて、重なり合っている点を重視しない。カップルが成り立つのは、その重なるの

部分をうまく共有できているからではないでしょうか。

人と人との関係は 一部だけ交わるのがベスト

社会で生きていく中で、人と人との付き合いは切っても切れません。人と一緒にいれば、人は成長していきますし、刺激的で楽しいことも生まれます。その反面、相手にどう合わせるかなどにも悩まされたりもします。人によって心地よい距離は違いますよね。それを測るのはなかなか難しいことです。わたしは、人々との関係は、ある部分だけ、交わった状態であることがベストな状態なんだと思います。全く重なり合う必要なんてないんです。その距離と重なるの部分のバランスが重要なんです。

個性と個性のぶつかり合い そして共有という楽しみ

自分には個性は魅力的。分かりやすい例えが、男という個性と女という個性。だから男と女は惹かれ合っんです。でも、ぶつかるんです。先ほどもお話しましたが、相手に合わせる必要はありません。あなたの個性を大事に、大いに出していつてほしいと思います。同性、異性を問わず同じです。社会生活は個性と個性のぶつかり合いです。でもその中で、あなたは個性を出しながらも、相手の個性を見れる人であってください。相手の意見をわかっている自分と重し、自分を持ち続ける。そして他人との共有部（重なり）を楽しむ。そんないい歳のとり方をしたいですね。

『男と女そして個性と個性』

藤井靖成



筆者からもう一言

私は医者として、たくさんの人に接し、人が生きることと考えるときました。経済情勢は、年々いや刻々と変化します。生活と経済はもちろん切っても切れない関係。でも、世間がどう変化しようとならないのは、人と人との交わり。その距離を日々調節、修正しながら交わりを保つことが人生なんですよ。

著者プロフィール 藤井靖成

藤井クリニック院長。内科専門医であると同時に消化器内視鏡専門医・指導医として従事。胃がん、大腸がんの内視鏡治療・手術で磨いた技術と、豊富な経験をもとに美容外科の技術も習得。1万例の美容外科施術経験を積む。